

たかはな

～シリーズ虐待③～

高花平小学校校長通信
平成21. 12. 14. (月)

No. 15



④ 児童虐待を防ぐために

みなさんは、毎年11月が《児童虐待防止推進月間》だということをご存知だったでしょうか。今年も11月には、【オレンジリボン】をシンボルにして、各地で児童虐待を防ぐための様々な活動が行われました。児童虐待を防ぐために考えなければならないことはいろいろありますが、子どもさんに関する悩みを自分一人で抱え込まないよう、周りに相談できる人を作っておくことが大切ではないかと思います。近所の人でも、友人でも、自分の親でもいいと思います。相談して自分の思いを吐き出すことで、気持ちが落ち着くことはよくあります。地区には民生委員さんや主任児童委員さんもみえます。相談されれば、皆さんきっと親身になって話を聞いてくださると思います。相談できる人がいない・・・、誰に相談したらいいかわからない・・・、という方は、迷わず学校【320-2074】まで電話してください。秘密は絶対に守った上で、責任を持って民生委員さん・主任児童委員さん・児童相談所等、悩みや話を聞いて、一緒に解決方法を考えてくれる方たちを紹介いたします。

小さいころに虐待を受けた子どもは、大きくなって親になった時、同じように自分の子どもを虐待してしまうことがあるといわれます。親として大切な子どもを授かった以上、その心身両面での成長に親が一番の責任を持つことは当然ですが、世の中には『完璧な親』などいないと思います。困ったことを相談し、わからないことを聞きながら、『みんな』の力を借りて子どもを育てていけばいいのだと思います。学校では、少しでもそんな保護者の方の手助けができればと考えています。遠慮なくご相談ください。

----- 切り取り線 -----

()年 ()組 名前《 》

A[]載せない B[]匿名なら載せてもいい C[]名前入りで載せてもいい

～2学期が終わります～

あと1週間ほどで2学期が終わります。2学期は、運動会・地区文化祭・修学旅行・社会見学・マラソン大会・三泗音楽会等々、とても行事の多い学期でしたが、どの学年もそれぞれの行事でしっかりと頑張ってくれたように思います。



先日、保護者の皆さんと4年生以上の子どもたちに学校に対するアンケートを実施しました。詳しい分析結果は、3学期の学校だよりでお知らせしようと思いますが、『いじめ・差別』を心配する声が多かったのが特に目につきました。『いじめ・差別』の根底には、大人でも子どもでも、自分の価値観に合わないものを『排除』し、それらの人たちを『自分より下位』に位置づけようとする貧しい発想があります。子どもたちには、できるだけ小さい時期に、そんな発想が間違っていることをしっかりと教えなければなりません。そのためには、①『家庭で人としての基本を身に付け』⇒②『学校で人と人とのつながりを学び』⇒③『社会に出て、学んだことを実践する』というしくみが、しっかりと確立されていなければなりません。言い換えれば、『いじめ・差別』をなくしていくためには、家庭と学校がそれぞれの役割分担をしっかりと果たさなければならないということです。

学校としては、皆さん方のご意見やご感想を踏まえ、これまで以上に子どもたちの様子に目を配り、『みんなが安心して生活できる学校』を目指して、全力で取り組んでいくことをお約束いたします。それぞれのご家庭におかれましても、お子さんの心身の健康に十分なお配慮をいただきますよう、お願いいたします。

最後になりましたが、地域の皆様方や保護者の皆様方に、お礼を申し上げたいと思います。朝のあいさつ運動を始めとして、学校行事を中心にとお世話になりまして、本当にありがとうございました。皆様方のご協力のおかげで、何とか2学期を無事に終えられそうです。私が高花平小学校に赴任してから9ヶ月の間、いろいろとご協力いただいた一つ一つに対して、心より感謝申し上げます。学校だよりの『お返事欄』を通していただいたご意見やご感想も、私の大きな支えになりました。今後も、皆様方のご期待に沿えるよう、精一杯努力していきたいと思っておりますので、引き続きのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆さんでよいお年をお迎えください。（来年は寅年、頑張れ阪神！……）

切 り 取 り 線
